

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

51

環境保全課

補助金の名称 (規則・要綱名)	高度処理型浄化槽転換整備事業補助金 西尾市高度処理型浄化槽転換整備事業補助金交付要綱			
補助事業の概要 及び交付先	下水道などの生活排水処理施設の整備が見込めない地域の一般家庭における単独処理浄化槽等から高度処理型浄化槽への自主的な転換整備に対して整備費用の一部を補助する事業 交付先 高度処理型浄化槽転換整備者(個人)			
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算	
	0円	1,045,000円	5,832,000円	
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類	
	国県協調補助金	臨時的補助金	施設等建設・維持補助金	
交付期間	開始年度	H26	終了年度(予定)	H30
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切	
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの	
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確	
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切	
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****	
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****	
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金	
	0円	0円	0円	
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****	
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****	
	※ 検討していない理由	*****		
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以内である	
	※ 補助対象経費の額			
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****			
3 今後の方向性				
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している	

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

51

環境保全課

補助金の名称 (規則・要綱名)	高度処理型浄化槽転換整備事業補助金	
	西尾市高度処理型浄化槽転換整備事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	5 自然環境・生活 安全とうるおいのある環境づくり
	項による分類	5 環境衛生
	施策内容による分類	5 公害対策の推進
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	「川や水路のきれいさ」に対する市民満足度を2026年度に59.0%にする。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	一部設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成27年度現在16.6%(進捗率28%)	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られない
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	下水道整備計画外の市民	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	自ら居住の用に供する市内の住宅に接続する単独処理浄化槽を撤去または雨水貯留槽へ転換して高度処理型浄化槽を設置する者	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	単独処理浄化槽では処理されないトイレ以外の生活雑排水は生活排水全体の有機汚濁の70%を占める。単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換を促進することで河川・海洋の水質浄化に資する。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	合併浄化槽設置費用の一部、工事請負契約書により確認。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成26年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

51

環境保全課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	0円	0円	5,832,000円	
	補助件数	0件	0件	12件	
	財源	国庫県費	0円	0円	495,000円
		その他	0円	0円	0円
		一般財源	0円	0円	0円
国庫県費等の名称	循環型社会形成推進交付金				

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	B	B	B	B	B	B
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		国は国として、市は市民目線で縦割りではなく事業を考えて欲しい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
目標設定が、「川や水路のきれいさの市民満足度を上げる」では、この補助金の趣旨と合致していない。						
補助金の実績が少なく、周知がされていないのでPRが必要である。						
下水道の普及していないところと調整区域における浄化槽設置割合がわからなければ、客観的に補助金の必要性が判断できない。						
平成26年に廃止した新築や建替時の合併処理浄化槽への補助の方が単独浄化槽から合併処理浄化槽への補助より必要なのではないか。						